

# 校内研修計画

甲州市立奥野田小学校

## 1 学校課題

本校の児童は、明るく、様々な学習活動や学校行事にまじめに取り組むことができる。30年以上続く伝統の朝マラソンにも意欲的に取り組み、心身をたくましく鍛えている。学習面においては、今までの研究の成果により、基礎的・基本的な力を着実に身につけてきている児童が多くいる反面、支援を必要とする児童も多く、学力に大きな差が見られる。また、日常生活の中で、先生や友だちの話を理解する力が十分に身につけていない児童や、自分の考えや気持ちをうまく表現できない児童も見られる。

## 2 研究主題

### 「確かな学力」を育む学習指導に関する研究

～国語科を中心とした「話すこと・聞くこと」の力を高めるための授業の工夫～

## 3 主題設定の理由

本年度より、新学習指導要領が完全実施となり、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養)の三つの柱に整理するとともに、各教科等の目標や内容についても、この三つの柱に基づいて再整理された。激しく変化する社会の中でも、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動できる力の育成が求められている。

本校では、H29年度のNRT等の結果から、国語科における「話すこと・聞くこと」の領域が全国に比べて低い傾向にあることが明らかとなった。また、各教科を支える「話の内容を理解する力」や「自分の考えを表現する力」という学習の基盤となる力の定着が十分でなく、日常生活においてもコミュニケーション能力が弱いといった点も見られた。これらの課題から、「話すこと・聞くこと」の基礎的・基本的な力をより高めていく必要があると捉え、H30～31年度の2年間、国語科を中心とした「話すこと・聞くこと」の力を高めるための授業の工夫について研究を進めてきた。2年間の研究で、言語活動や伝え合う場を工夫することを通して、児童の「話すこと・聞くこと」の基礎的・基本的な力は高まってきている。しかし、昨年度のNRTの結果から、目的や話題に沿って話すことの中領域にまだ課題のある学年が多いことがわかった。日常の児童の様子からも、引き続き「話すこと・聞くこと」の力の底上げを図っていく必要がある。

これまでの研究により、話し方や聞き方のスキルは子どもたちに身につけてきている。しかし、『伝える』という点で、一方的に話していたり、話題の中心を意識して聞けていなかったりする姿が見られる。相手とのコミュニケーションは一方的ではなく、常に相手との行き来があってこそ成立するものである。相手意識を持って話したり聞いたりする力は、国語科のみならず学習の基盤となる大切な力である。そこで今年度は、対話を含め、相手意識をもった「話すこと・聞くこと」の授業改善に取り組み、本校の目指す「確かな学力」の育成に迫っていきたい。

さらに、授業づくりを支える支援策として、言語活動を意識した場の設定の工夫やICT機器の効果的な活用について研究を深め、一人ひとりの児童が自分の考えを広げ、友だちと関わり合いながら、学びを深め、「確かな学力」を身につけられるよう環境づくりを進めていきたい。また、深い学びを保证するためには、授業の中で先生や友達の話をしっかり聞いたり、自分の考えを安心して表現したりできる、落ち着いた学級集団づくりも重要となってくる。したがって、甲州市で取り組んでいるQ-Uの分析を結果を活用し、より良い学級集団作りにも取り組んでいきたい。

## 4 研究の内容と方法

### ◇授業研究

- ・「話す・聞く」に関わる環境の整備
- ・言語活動ハンドブックや「言語活動実践例」の活用
- ・「言語活動実践例」の作成
- ・甲州市ティーチャーズノートの活用
- ・一人一実践授業
- ・研究授業

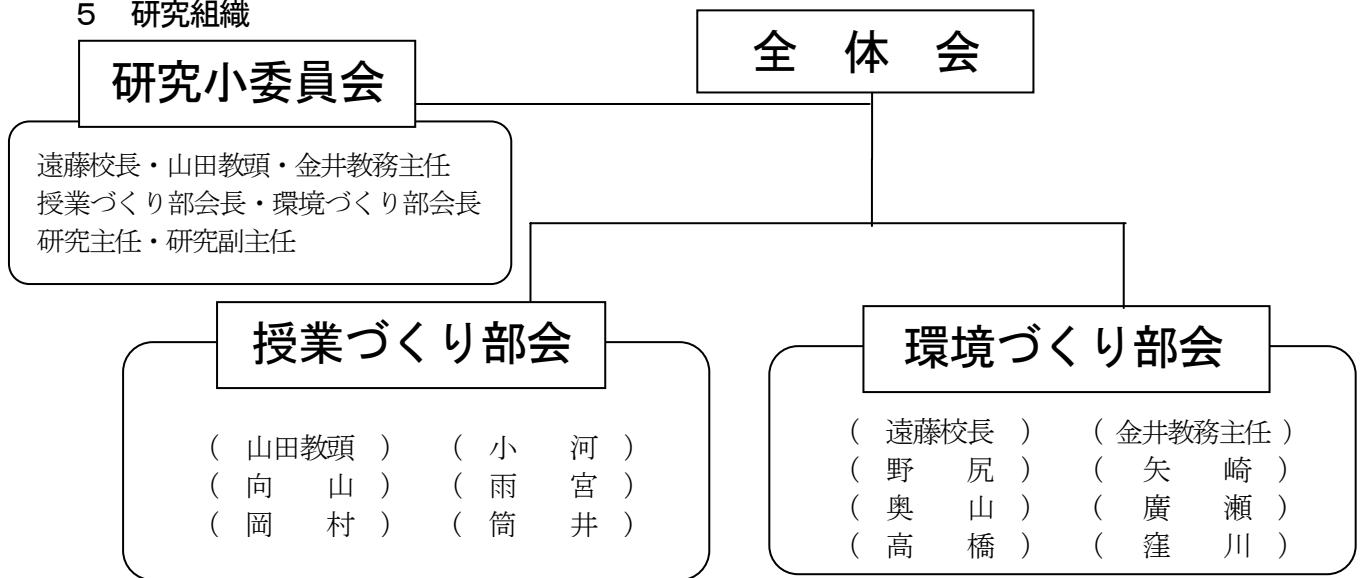
### ◇学級集団作り

- ・「Q-U」の実施と分析・活用の充実
- ・確かな学力育成プロジェクトへの取組

### ◇ICT機器の活用

- ・タブレット等のICT機器に関わる技術向上のための研修
- ・「タブレット活用の実践例」の作成

5 研究組織



年間校内研修計画

研究テーマ	教科・領域	担当者	日程 (授業の時期)			TC要請	
「確かな学力」を育む学習指導に関する研究 「国語科を中心として」「話すこと・聞くこと」の力を高める授業の工夫		研究副主任	4	8	①		
		研究副主任		22	②		
	・今年度の研究の方向性について ・今年度の研究の概要について		研究副主任	5	13	③	
	・タブレット・言語活動ハンドブックの活用について ・「確かな学力」育成プロジェクトに関する取組について	ICT	研究主任 研究副主任	6	3	④	
	・第1回Q-Uの分析及び結果の共有化	集団づくり	ブロック長 学級担任	7	1	⑤	
	・「NRT」検査結果分析と意見交換 ・新学習指導要領「話すこと・聞くこと」の目標・内容・系統の確認	国語・算数	各学年 研究副主任		8	⑥	
	・ブロック研究会		ブロック長	8	18	⑦	
	・教育課程説明会の還流報告 ※特別支援教育の学習会	各教科 (特別支援)	各教科主任 (コーディネーター)	9	4	⑧	
	・一人一実践授業の共有化		授業者		23	⑨	
	・ブロック研究会		ブロック長		30	⑩	
	・一人一実践授業の共有化		授業者	10	9	⑪	
	・一人一実践授業の共有化		授業者		28	⑫	
	・ブロック研究 研究授業の指導案検討 「話す・聞く」環境づくり		ブロック長 授業者	11	18	⑬	
	・第2回Q-Uの分析及び分析結果の共有化	集団づくり	学級担任 ブロック長		25	⑭	○
	・研究授業の指導案検討		ブロック長 授業者	12	9	⑮	
	・研究授業		授業者 ブロック長 研究主任・副主任	1	27	⑯	
	・研究の成果と課題アンケートについて ・ブロック研究のまとめ		研究主任・副主任 ブロック長	2	17	⑰	
	・研究のまとめ 研究紀要作成について		授業者 研究主任・副主任		24	⑱	
	・研究紀要の作成		研究主任・副主任	3	3	⑲	
・研究紀要製本		研究主任・副主任					